

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターおひさま		
○保護者評価実施期間	令和7年11月10日		～ 令和7年11月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年2月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先との関係性が良好で、連携・相談がしやすく、子どもを中心に同じ方向性を向きながら取り組むことができています。	訪問先の理念や環境を理解し、訪問先の文化に入らせてもらっていることを念頭に置きながら、子どもが持っている力を引き出せていけるように助言や提案を行っています。	今後も、訪問先との良好な関係性を基盤に、専門性の向上を継続しながら、子どもを中心によりよい訪問支援ができるようにしていきます。
2	児童発達支援事業を利用されている利用児が多く、集団活動の様子や発達の状況を深く知った上で、訪問先のそれぞれの場所での助言・支援を行うことができています。	訪問先の環境や文化に合わせ、その子の持っている力をより引き出せる関わりや支援を助言・提案することができています。また、必要に応じて当事業所での関わりを見てもらおう機会を作っています。	今後も、訪問先の環境や文化をしっかりと理解し、相手の文化に入らせていただいていることを念頭に置きながら、子どもを中心によりよい訪問支援ができるようにしていきたいと考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の都合や訪問できる日に限りがあり、訪問日程の調整が難しい場合があります。	訪問できる日程と訪問先等の予定が合わないことがあります。	今後も、訪問先と細めに連携をとり、訪問日を決定していき訪問できるようにしていきます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターおひさま

公表日 令和8年2月24日

利用児童数 令和8年11月29日 4名

回収数 4名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4					
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4				その時の悩みや、課題に合わせて訪問日を決めてくれます。	保育所等訪問支援の頻度や時間については、保護者や関係機関と十分に相談したうえで決定しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3			1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				こどもに合った支援をさせていただいています。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					こども、保護者、訪問先施設のニーズや課題を分析し、共有の上で保育所等訪問支援計画を作成し、必要に応じて見直しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					個別支援計画の作成にあたっては、訪問先施設や担任等と事前に情報共有を行い、現場での困りごとや意向を十分に反映させています。連携を図りながら、実態に即した支援内容を設定しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					保育所等訪問支援計画に沿って支援を実施し、振り返りを行いながら必要に応じて見直しています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					訪問先施設の方針や状況に配慮し、事前調整のうえ連携を図りながら支援を実施しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					利用開始時に運営規定について丁寧に説明し、ご理解・ご同意を頂いています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					保育所等訪問支援計画を丁寧に説明し、ご理解・ご同意を頂いたうえで支援を実施しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4					今年度もペアレントプログラムを開催し、子育てが楽しくすすんでいくことが出来るように、共に考えこどもの育ちの姿の見方を保護者も職員も一緒に学びました。こどもの様子、支援のポイント等について保護者へ報告を行っています。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				アドバイスのおかげでこどもへの対応が変わりました。	引き続き定期的に面談を行いながら支援を進めていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					支援にあたる職員は、保育所等訪問支援の目的や役割を理解し、専門性の向上に努めています。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					今後も体制の整備を行い、家族からの相談に対して、丁寧に対応し、迅速かつ適切に関係機関と連携していきます。

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				日頃から丁寧な説明や分かりやすい言葉がけを心がけ、保護者とも連絡帳や面談を通して情報共有を行い、意思の疎通が円滑に図れるよう配慮しています。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4			先生も助言をいただきありがたいと言っていました。	訪問先施設からの相談には随時対応し、子どもの状況に応じた具体的な助言や支援方法を提案し、連携を図っています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4				訪問時には必ず職員間で情報共有や振り返りを行い、支援内容や配慮点について話し合いながら実施しています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4			必ず電話が来て詳細を教えてください。	引き続き訪問実施後には、必ず保護者と面談を行い、子どもの様子や支援について情報共有いたします。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3		1		定期的に通信「おひさま」やホームページ・事業所内閲覧等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信しておりますが、SNSについては十分ではありません。今後は、活動の様子やお知らせなどをSNSの配信も取り入れながら、分かりやすくお伝えしていきたいと考えています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				個人情報の管理を徹底し、書類の保管や情報共有の方法についても十分に配慮しています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4				緊急時の対応については事前に確認し、訪問先施設と連携を図りながら迅速に対応できる体制を整えています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				安全計画を策定し、職員間で共有するとともに、十分な安全確認のもとで支援を実施しています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4			職員さんが来ることを喜んでます。	ありがとうございます。更に丁寧に喜ばれる支援を重ねて参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4			的確な助言をありがとうございます。	引き続き支援を行った内容を正確に伝え、子どもの成長と一緒に喜びながら次への支援へと繋げます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年2月24日

児童発達支援センターおひさま

令和8年2月19日 回答数 3施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			・説明の際、具体例も伝えてくれるのでわかりやすく実践しやすいです。 ・こどもに合わせた助言で、日々の保育に取り入れやすいです。	助言がより、具体的になるようポイントを明確に示し、わかりやすい言葉で説明することを心がけています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			・毎回おなじ方が訪問に来てくださるので関係もできて話しやすい雰囲気です。安心して相談することが出来ています。	訪問後には支援内容を振り返り、助言が現場で活かされているか確認しながら改善を図っていきます。今後もより質の高い支援が提供できるよう努めていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			こどもの関わり方や環境についても具体的に答えていただいています。	質問や相談にはできるだけその場でわかりやすく回答することを心がけています。回答が難しい場合には確認の上、後日ご連絡する体制を整えています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			環境を整えることで課題が軽減されました。	課題を丁寧に把握し、具体的な対応策を提案するとともに、振り返りを行いながら課題の軽減につなげています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			具体的な助言や継続して来ていただけるので満足しています。	今後も訪問先施設との連携を大切にしながら、より満足の高い支援に努めてまいります。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に保護者からの相談内容をお伝えして下さるので、園内でも共有がしやすいです。 ・訪問回数は今の回数で大丈夫です。 					<ul style="list-style-type: none"> ・事前の情報共有を丁寧にいき、訪問時には目的を明確にした支援を実施していきます。 ・こどもの行動面や環境適応の状況を定期的に確認し、課題が増えている場合には訪問回数を増やすなど調整を行っていきます。当面は現行の回数で継続していきます。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターおひさま		公表日	令和8年2月24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		訪問支援では、訪問先で日常的に使用している教材や環境を活用し、子どもが安心して取り組めるよう支援しています。特別な教具は持参していませんが、支援上必要と判断した場合には、子どもの発達段階や課題に応じた教材を準備することもあります。実施後は振り返りを行い、適切性を確認しています。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に運営しております。必要があればその都度対処していきます。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		保育所等訪問支援においても、PDCAサイクルを取り入れ、職員間で共有・検討を行っています。訪問前には支援方針や目標を確認し、訪問後には報告と振り返りを実施しています。訪問先での支援内容や助言の方法について意見交換を行い、改善点を次回の訪問に反映させています。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いた評価をもとに業務改善の話し合いを行っています。今後さらなる評価シート作成と共に保護者等の意向を把握していきます。	
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保育所等訪問支援に関する事例検討や振り返りの機会を設け、訪問支援員の意見や気づきを共有しています。その内容をもとに、助言方法や訪問の進め方の見直しを行い、業務改善につなげています。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者の意見を広く受け入れ支援に活かせるよう取り組んでいます。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間事業計画に職員研修計画を定め、法人内研修や外部研修への参加を行えています。スキルアップ研修にも積極的に参加できる体制作りをしています。	
8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		障害児支援利用計画をもとに、子どもと保護者からアセスメントを行い、訪問先の職員と共に保育所等訪問支援計画を策定しています。今後も、利用児のニーズに沿った個別の保育所等訪問支援計画を作成していきます。		
9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		利用児の支援に関わる職員が共通理解の下で子どもの特性を理解し、計画に沿った支援を心掛けています。今後も、多角的な視点で一人ひとりにあった支援内容を計画していきます。		
10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		子どもと家族のニーズを把握し、アセスメントを実施して訪問先施設の意向や理念、子どもの訪問先施設での生活の様子などを担当者との連携を図り、事前の打ち合わせの電話連絡や訪問時に話し合いの時間を設け、意向を盛り込む様にしています。今後も訪問先の状況も理解したうえで対応していきます。		
11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画が職員間に共有されています。合理的な配慮を含めた支援内容となっております。今後もニーズに合った支援を心掛けていきます。		

適切な支援の提供	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの障がい特性に適合する標準化されたツールで、特性を踏まえながら個々に合わせた評価を行い、日々の行動観察による分析、こころの育ちについてもみていけるように取り組んでいます。アセスメントツールを正確に使用し、なお一層こどもの特性を把握していきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		こどもの支援、ご家族の支援、地域生活の支援を項目としてあげて、支援内容を設定しています。こども本人が将来日常生活や社会生活を円滑に営めるように、安心の関りが繋がっていくよう、こどもを取り巻く方々と共有してまいります。日々の支援内容や個々の目的を職員間で共有するため、ガイドラインの周知を今後も図っていきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援会議を元に、支援計画の作成を行い、実践しています。今後も全職員が支援計画に沿った支援を行っていきます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には職員間で必ず打合せを行っています。今後も、支援の情報共有をし統一した支援ができるように努めていきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問ごとに支援内容やこどもの変化、園からの意見等を漏れなく記録することを徹底し、速やかに作成、保存しています。記録は職員間で共有し、振り返りを行いながら、その結果を次回の支援計画や助言内容の見直しに活かしています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の理念や、意向、職員の思いなどを十分にお聞きするようにし、尊重した上で、支援の協力をいただくようにしています。訪問先の方針に沿って参加させていただき、こどもの願いを訪問先職員と一緒に考える姿勢で臨んでいます。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		報告書を作成し、保護者と訪問先施設に確認いただき、共有するようにしています。今後も支援内容や気づいたことを記録に残していきます。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		一定期間ごとに保護者面談や訪問先との情報共有の機会を設け、意向や困りごとの変化を確認しています。モニタリング結果をもとに、必要に応じて目標や支援内容の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		訪問支援員（保育士）や児童発達支援管理責任者が参加し、現状や方向性を報告をしています。よりこどもの状況を理解していける場を今後も作ります。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		こども総合療育センター、障害福祉課、保育教育等こどもの育ちに関する方々との連携を図っております。今後難しい課題については、日々の記録やミーティングなどを活用して、連携についての共有を図っていきたく思います。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		可能な限り、就学までのサポートをするようにしています。今後も就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていきます。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		質の向上を図るため、専門機関等に助言をいただいたり、外部研修に職員が参加しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		法人職員が自立支援協議会、子ども部会・児童発達支援センター会議、子育て支援ネットワーク会議に積極的に参加しております。地域のニーズについて意見を述べるよう取り組みを行っています。	
25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		施設訪問時やモニタリング時、日頃の家族面談時に双方にこどもの成長について、ちょっとしたことも共通認識できるようにしています。また、療育内容や様子などもご家族に理解しやすい説明を心がけています。		

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		毎年度ペアレントプログラムを実施し、子育ての楽しさや、保護者同士の仲間づくり、リラックスタイムの提供と、研修を行っています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や内容変更時に直接ご説明をしています。いつでも確認していただけるよう提示・閲覧も準備してあります。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		保育所等訪問支援の利用を初めて受ける訪問先施設には、より丁寧に伝えています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもと保護者からアセスメントを行い、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて意向を確認した上で支援計画を作成しています。今後も、利用者のニーズに沿った個別の支援計画を作成していきます。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保護者に分かりやすく説明を行い、同意を受け交付をしております。今後も具体的にわかりやすくお伝えようにします。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に保護者との面談や相談の機会を設け、子育てに関する悩みや不安に丁寧に対応しています。家庭での声掛けの工夫、生活リズムの整え方、困った行動への対応方法について助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		児童発達支援の活動と合わせて、家族やきょうだいで交流が出来るよう定期的に家族会を実施し、一緒に遊び、楽しい時間や交流を目的として「えんにちごっこ」や「安全教室」の実施等を行っています。	家族会として実施していますが、父母の会結成にまでは至っておりません。保護者同士での情報共有が行えるように今後も計画していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口や連絡方法（電話・書面・面談等）を保護者に周知し、相談体制を整えています。申し入れがあった際には、速やかに事実確認を行い、関係職員で共有のうえ対応方針を検討していきます。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		日々の連絡帳の活用や法人ホームページを活用して発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規定を基に慎重に取り扱っています。情報の使用については、ご家族へ同意書をとり、随時確認しながら行っています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		こどもの特性に応じて、絵カードや視覚的提示、短い文章での説明など使い、理解しやすい方法で情報を伝えています。保護者へは、支援内容やこどもの様子を具体的に交えて説明し、不明点がないよう確認しながら情報共有を行っています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問日以外でも相談を受け付けられるよう連絡体制を整えています。訪問先からの困りごとや緊急性のある課題については速やかに共有し、関わり方の提案や環境整備の助言など、実践につながる支援を行っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		切れ目のない支援を心掛けています。今後も定期的に連絡をとり、その都度支援内容について話し合う機会をつくっていきます。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後にどのような支援方法をお伝えしたか、利用児の様子などを報告しています。今後も支援内容を具体的にわかりやすく伝えていきます。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規定を基に、十分に気を付けて取り扱いをしています。訪問先施設への説明においてもその旨を説明しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問時や支援計画のモニタリング時などで情報共有の時間を取り、話を伺い助言や支援を行っています。日々の生活の事や行動観察などから見えてくることについて双方に話し合い、一緒に考え取り組みを実施しています。 定期的に連絡を取り現状を聞いています。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの随時更新を行っています。 マニュアルをもとに、災害訓練等の実施や災害等を想定した話し合いを行っています。	

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	施設設備等の安全点検、施設外活動等を含む活動、取組等における職員や利用児に対する安全確保のための指導を行っています。今後も利用児の安全確保に関する取組についての年間スケジュール（安全計画）を定めています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットを事業所内でその都度共有し、再発防止に向けた話し合いを行っています。 年度を振り返り、第三者委員と共に法人内での報告及び研修会を実施して、事業所内で共有しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	研修の開催や、マニュアル、必要書類等の調整を行っています。今年度はeラーニングを導入し、映像や資料を基に事業所内でより理解が進むよう取り組みました。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	法人内研修において、話し合いや勉強会を行い、対応の検討を行っています。 契約時に説明をしていますが該当者はいません。	